

第22回

日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会

消化管機能検査を始めていこうと考えられている方へ

— ハンズオンセミナー 嚥下マノメトリー —

日時・会場

- ・ 2016年9月23日(金曜日)
- ・ 時 間：17:00～18:30
- ・ 場 所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
第5会場 3F(中会議室301)
- ・ 人 数：50名

セミナー概要

- ・ 嚥下生理学とマノメトリー
- ・ 高解像度マノメトリーの
デモンストレーション
- ・ 高解像度マノメトリーからみた
嚥下障害

プログラム

17:00～17:25(25分) 始まりの挨拶
マノメトリーからみた嚥下生理学
演者：青柳 陽一郎 准教授¹⁾

17:25～18:00(35分) 高解像度マノメトリーのデモンストレーション
演者：青柳 陽一郎 准教授¹⁾、粟飯原けい子 先生²⁾
¹⁾ 藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座
²⁾ 藤田保健衛生大学病院リハビリテーション部

18:00～18:25(25分) 高解像度マノメトリーからみた嚥下障害
演者：浜松リハビリテーション病院リハビリテーション科 國枝 顕二郎 先生

18:25～18:30(5分) 質疑応答

18:30 終 了

募集概要

- ・ 定 員 50名(事前予約制)
- ・ 募集対象者 これから消化管機能検査を始めていこうと考えられている方
医師、ST
- ・ 参加費 ￥1,000(当日徴収)

共 催

第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会



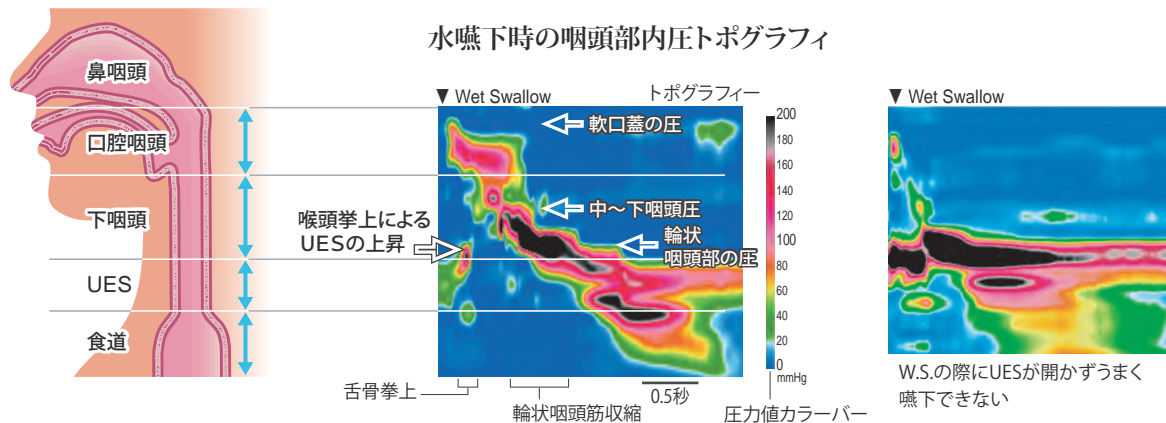
スターメディカル株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-14-12 太陽ビル5F Tel.(03)5604-1641 Fax.(03)5604-1645

E-mail : starmedical@starmedical.co.jp <http://www.starmedical.co.jp>

ハンズオンセミナー

嚥下マノメトリー | 消化管機能検査を始めたい人のために



1. マノメトリーからみた嚥下生理学

演 者：青柳陽一郎 先生

所 属：藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座

抄 録：嚥下反射は、舌骨挙上にはじまり、喉頭挙上、咽頭筋収縮、上部食道括約筋部 (upper esophageal sphincter, UES) 弛緩と続く。嚥下反射時に上咽頭から中咽頭、下咽頭、UESへと協調的かつ連続的に嚥下関与筋が活動する際に、嚥下圧が発生する。マノメトリーでは、この咽頭内圧の時間的、空間的变化を記録し評価する。本講演では、嚥下反射の神経生理学的側面の概略を説明し、マノメトリーがどの生理学的現象をみているのかについて概説する。

2. 高解像度マノメトリーのデモンストレーション

演 者：青柳陽一郎 先生¹⁾、粟飯原けい子 先生²⁾

所 属：¹⁾ 藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学 I 講座

²⁾ 藤田保健衛生大学病院リハビリテーション部

抄 録：高解像度マノメトリー (High Resolution Manometry: H.R.M.) の需要は世界的に増しており、嚥下機能評価法の一つとして確立されつつある。圧センサーが 1cm 間隔で搭載されている HRM を用いると、上咽頭から食道まで空間的に一度に連続したデータを得ることができる。HRM カテーテルから測定された圧データはリアルタイムでモニター上に圧トポグラフィーとして表示される。保存されたデータは、専用の解析ソフトを用いて、圧、時間、距離に関して詳細な計測が可能となる。このセッションでは、実際に HRM の挿入を行い、モニタリング、計測法などをデモンストレーションする。

3. 高解像度マノメトリーからみた嚥下障害

演 者：國枝頭二郎 先生、藤島一郎 先生

所 属：浜松リハビリテーション病院リハビリテーション科

抄 録：近年、高解像度マノメトリー (High Resolution Manometry: H.R.M.) を用いた嚥下圧検査は、嚥下機能の新たな評価方法の一つとして注目されている。

HRM システムを用いることにより嚥下障害の病態の理解が進むものと思われ、今後はリハビリテーション手技の理論的根拠の明確化や新しいリハビリテーション手技の開発、脳卒中や進行性疾患など各疾患における嚥下機能の経時的な変化や嚥下障害治療における改善の記録などへの臨床応用が期待される。本講演では、摂食嚥下リハビリテーションにおけるさまざまな訓練法や、嚥下障害診療でよくみられる咽頭内圧の低下、嚥下関与筋のタイミング異常、食道入口部の弛緩障害などに関する HRM のトポグラフィーや圧波形を示し、訓練手技の嚥下動態や、臨床応用について概説する。